

令和6年 3月29日

関係機関・団体の長 様

新潟県病虫害防除所長

令和6年度新潟県病虫害発生予察情報・予報第1号の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので、送付します。

なお、この情報は、「新潟県病虫害防除所」のホームページでも閲覧できますので、適宜ご活用ください。

また、次回の予報第2号（5月の発生予想）の発表は、5月1日を予定しています。

新潟県病虫害防除所業務課

電話：0258-35-0867

FAX：0258-35-7445

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bojo/>

令和6年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第1号  
(4月の発生予想)

令和6年 3月29日

<p>【作物名】 病害虫名</p>	<p>予報内容 発生量：平年比 発生程度： 発生時期：平年比</p>	<p>予報の根拠</p>
-----------------------	--	--------------

【大麦】

<p>赤かび病</p>	<p>量：並 程度：少発生 時期：並</p>	<p>① 前年の発生は平年並(未確認)で、伝染源量は平年並と推定される。(±) ② 3ヶ月予報では、5月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。(±~+)</p>
<p>雲形病</p>	<p>量：並 程度：少発生</p>	<p>① 前年の発生は平年比やや少なく(未確認)で、伝染源量は平年比やや少ないと推定される。(－) ② 3月下旬の発生量は平年並(未確認)。(±~－) ③ 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。(±~+)</p>

【冬春トマト(施設)】

<p>灰色かび病</p>	<p>量：やや少ない 程度：少発生 (果実発病度1~20)</p>	<p>① 3月下旬の発生は、葉および果実での発病は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。(－~±)</p> <p>【防除上の留意事項】</p> <p>① 株の繁茂やハウス内湿度の上昇は発生を助長するので、送風、換気等を行い施設内の湿度低下に努める。 ② 咲き終わった花卉やチップバーン等は速やかに取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。 ③ 予防に重点をおいた薬剤散布を行う。ただし、薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同じ作用機構を持つ薬剤の連続使用は避ける。</p>
<p>アブラムシ類</p>	<p>量：並 程度：少発生 (寄生株率1~10%)</p>	<p>① 3月下旬の発生は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)</p>
<p>コナジラミ類</p>	<p>量：やや少ない 程度：少発生 (1複葉当たり寄生数0.01~9)</p>	<p>① 3月下旬の発生は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)</p>
<p>アザミウマ類</p>	<p>量：並 程度：少発生 (寄生花率1~10%)</p>	<p>① 3月下旬の発生は平年並(±)、白ぶくれ症果の発生は近年比やや少ない。(－~±) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)</p>

【作物名】 病害虫名	予報内容 発生量：平年比 発生程度： 発生時期：平年比	予報の根拠
---------------	--------------------------------------	-------

【冬春いちご（施設）】

灰色かび病	量：やや少ない 程度：少発生 (発病果率1～5%)	① 3月下旬の発生は、葉での発病は平年並、果実での発病は平年比やや少ない。(±～－) ② 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。(－～±)
<p>【防除上の留意事項】</p> <p>① 多湿条件で発病が多くなるため、茎葉が過繁茂の場合は下葉を除去し、風通しを良くするとともに、かん水過多にならないよう注意する。</p> <p>② 発病した葉や果実等は速やかに取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。</p> <p>③ 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同じ作用機構を持つ薬剤の連続使用は避ける。</p>		
うどんこ病	量：やや少ない 程度：少発生 (発病果率1～5%)	① 3月下旬の発生は、葉および果実の発病は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。(＋～±)
コナジラミ類	量：やや少ない 程度：少発生 (寄生葉率1～25%)	① 3月下旬の発生は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)
アザミウマ類	量：並 程度：少発生 (寄生花率1～2%、 被害果率1～5%)	① 3月下旬の発生は花の寄生は平年比やや少なく、果実の被害は平年並。(±～－) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)
アブラムシ類	量：並 程度：少発生 (寄生株率1～25%)	① 3月下旬の発生は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)
ハダニ類	量：並 程度：少発生 (寄生株率1～40%)	① 3月下旬の発生は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。(＋)

～ 防除上の注意事項は、最新の「新潟県農作物病虫害雑草防除指針」を参照してください ～

注1：①「予報内容」の発生量は、予想される発生量が、新潟県における平年の発生量に比べて多  
いか少ないかを、少、やや少、並、やや多、多の5段階で表記しています。

②発生程度は、予想される発生量が、国の調査実施基準等で定められている、無発生、少発  
生、中発生、多発生、甚発生のいずれに該当するかを表記しています。

注2：「予報の根拠」の、(+)は発生量を増加させる要因、(-)は発生量を減少させる要因、  
(±)はどちらともいえない要因を示しています。

～ 農薬は適正に使用しましょう ～

- 農薬の準備・使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認しましょう。
- 使用に際しては、ラベルに記載の使用基準や注意事項をよく読み、使用者が責任を持って使  
きましょう。
- 農薬の飛散防止に努めましょう。周辺作物や住宅及びミツバチ等への危害防止のため、周辺の  
生産者や住民、養蜂業者に事前に防除計画を通知するなどの対策をとりましょう。
- 農薬の使用後は防除日誌や作業日誌等の記帳に努めましょう。
- 水田で湛水して農薬を散布する場合は、処理後7日間の止水を厳守し、落水しないようにしま  
しょう。

新潟県病虫害防除所業務課

電 話：0258-35-0867

F A X：0258-35-7445

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bojo/>

【参考】北陸地方 1か月予報（3月30日から4月29日までの天候見通し）

（新潟地方気象台：令和6年3月28日発表）

＜予想される向こう1か月の天候＞

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。

週別の気温は、

1週目は、高い確率80%です。

2週目は、高い確率70%です

3～4週目は、高い確率50%です。

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気 温	10	20	70
降 水 量	30	40	30
日照時間	30	40	30

＜気温経過の各階級の確率（%）＞

	低い	平年並	高い
1週目（3月30日～ 4月 5日）	10	10	80
2週目（4月 6日～ 4月12日）	10	20	70
3～4週目（4月13日～ 4月26日）	10	40	50